

★★★★★

10 オオシオカラトンボ

約 55 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.8.5 G



▲メス 2004.5.19 T



▲交尾 1995.8.18 T

シオカラトンボより太めでがっしりした体型。オスの腹は青みが濃く、先が少しだけ黒くなる。また、複眼の色が黒っぽいのも特徴。羽の根元には黒い斑がある。メスや未成熟な個体は黄色で、コシアキトンボのメスに少し似ている。

よく似た種 ②シオヤトンボ・⑦シオカラトンボ
⑪コシアキトンボ(メス)

シオカラトンボの仲間 ▶ P. 9

★★★★★

11 コシアキトンボ

約 45 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.6.19 M



▲メス 2002.6.16 T



▲交尾 2005.7.14 G

オスは黒くて腹の根元部分が半分ほど白い。「腰空き」の名前はここからきている。メスは腹の根元部分が黄色で、そこに黒い切れ込みが入っている。築池のほとりや姿池などの水辺で、オスが縄張りを張って飛び回るのがよく見られる。なかなか止まることがなく、止まっても神経質でありあまり近寄らせてくれない。

よく似た種 ⑩オオシオカラトンボ(メス)

★★

12 オオヤマトンボ

約 90 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.7.10 T

オニヤンマによく似た大型のトンボだが、オニヤンマとは生息環境が異なり、築池や姿池などの開けた水面上をパトロールしているのが見られる。しっぽの先が少し膨らんだシルエットと、腹の先端から4分の1くらいのところにある黄色いラインが目印になる。エゾトンボ科で、左右の複眼が線でつながっている。あまり止まらないが、止まるときは木の枝などにぶら下がって止まる。

よく似た種 19オニヤンマ・13コオニヤンマ

トンボの顔 黒に黄縞の大型のトンボは、複眼の違いに注目。

サナエトンボ科

複眼が左右に離れる



▲オナガサナエ (T)



▲コオニヤンマ (G)

オニヤンマ科

複眼が一点で接する



▲オニヤンマ (G)

ヤンマ科
エゾトンボ科
トンボ科

複眼が線でつながる



▲クロスジギンヤンマ (G)

★★

13 コオニヤンマ

約 80 mm

観察できる時期(月)

4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	----



▲オス 2005.6.30 G

「ヤンマ」とつくが、サナエトンボの仲間で、複眼が左右に少し離れている。胸が大きいので頭が小さく見える。後ろ足が極端に長いのが特徴。築池のほとりの手すりや、地面にべったり止まっていることが多い。

よく似た種 19オニヤンマ



▲メス 2005.7.21 G



▲メス 2001.7.24 T